

【IMETSフォーラム2024 第50回 教育工学研修中央セミナー】 ご報告

[受講者数]

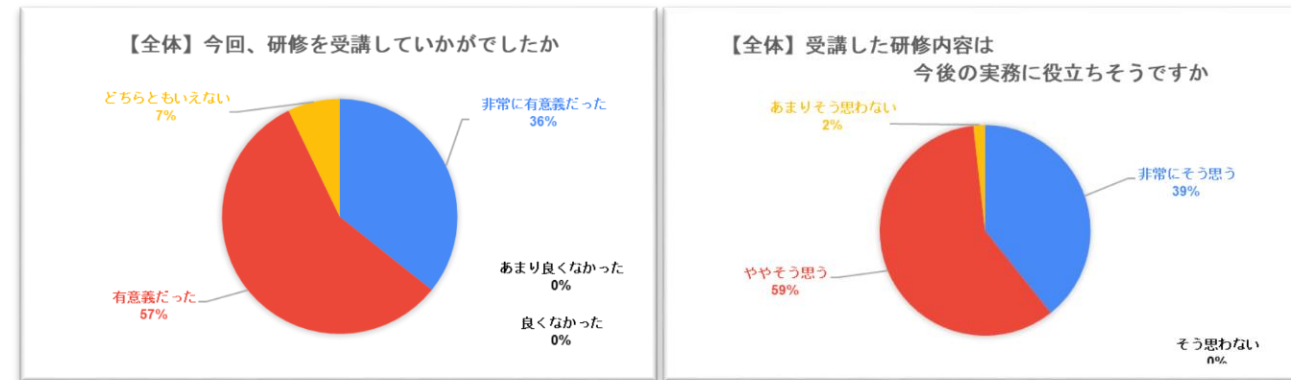
7月30日(火) 117 名

7月31日(水) 184 名

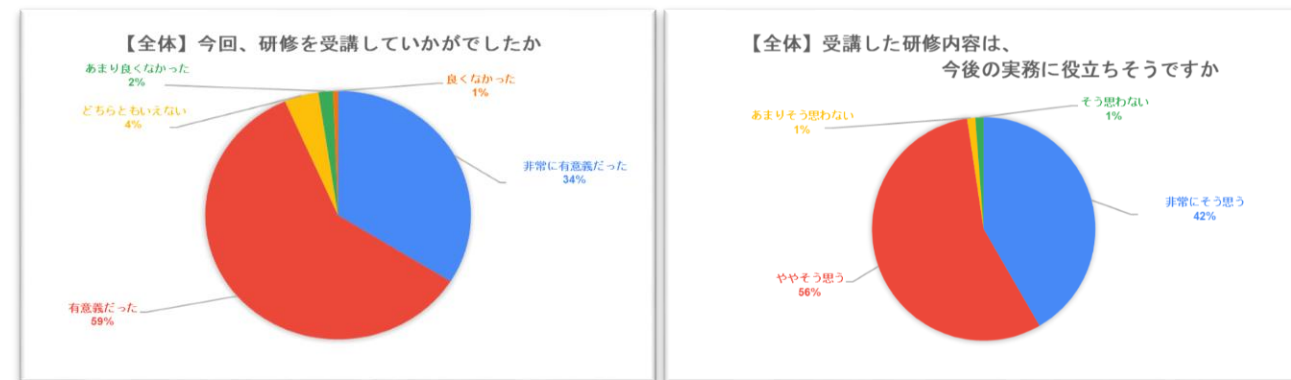
+ 見学者(両日合わせて) 15名

計… 316 名

7月30日(火) アンケート集計結果



7月31日(水) アンケート集計結果



基調講演「GIGAスクール構想時代に求められる学び」



WS「ピクトグラムをプログラミングしてみよう！」

ご参加いただきありがとうございました。



対面式講習

授業と学校を
探る

構想時代の

GIGAスクール

【研修主題】



7月30日(火) 8:50-16:30 / 31日(水) 9:00-16:30

港区立小中一貫教育校 赤坂学園 赤坂中学校

1日参加 7,700円(税込) 2日参加 12,000円(税込) 半日コース 5,500円(税込)

7月30日(火)

基調講演

9:00~10:00



GIGAスクール構想時代に求められる学び

黒上 晴夫 関西大学総合情報学部 教授

特別講演

10:35~11:45



GIGAスクール構想の推進について

寺島 史朗 文部科学省初等中等教育局 学校情報基盤・教材課長

ワークショップ

13:05~14:35

- カリキュラム・マネジメントの要となる授業づくり 村川 雅弘 甲南女子大学人間科学部 教授
- ICTの授業や家庭での活用 佐藤 和紀 信州大学学術研究院教育学系 准教授
- 探究で使えるスライド・テンプレートを体験しよう 大河 凌凱 関西大学大学院 博士課程 / 黒上晴夫 関西大学総合情報学部 教授
- ピクトグラムをプログラミングしてみよう! 中野 由章 工学院大学附属中学校・高等学校 校長 / 工学院大学教育開発センター 特任教授
- 探究的な学びに必要なタイピングスキル 石塚 桃弥 株式会社教育ネット ※PC・タブレット持参のワークショップがございます。詳しくは、HPへ。

特別対談

15:00~16:30

自己調整学習をどう進めるか

(進行: 黒上 晴夫) 関西大学総合情報学部 教授



木村 明憲 桃山学院教育大学 人間教育学部 准教授



宗實 直樹 関西学院初等部 教諭

7月31日(水)

特別講演

9:00~10:00



生成AIと教育

石川 一郎 学校改革プロデューサー

ワークショップ (午前の部)

10:30~12:00

- 発達に偏りのある子どもの理解~心理的疑似体験を通して~ 小林 玄 東京学芸大学 准教授
- NHK for School を活用した授業と家庭学習のデザイン 宇治橋 祐之 NHK 放送文化研究所 主任研究員
- 間違いだらけの協働学習を行う前に知っておくべきこと 榎本 竜二 元東京女子体育大学 准教授
- 教師と一緒に考える運動・スポーツを通じた探究活動(教科: 体育・保健体育) 久保 賢太郎 玉川大学教育学部 教育学科 講師
- 学校におけるAIの可能性とチャレンジ 古賀 大吉 株式会社教育ネット ※PC・タブレット持参のワークショップがございます。詳しくは、HPへ。

ワークショップ (午後の部)

13:20~14:50

- 発達に偏りのある子どもの理解~心理的疑似体験を通して~ 小林 玄 東京学芸大学 准教授
- 情報活用能力を身に付け発揮する学び 西田 光昭 柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー ※PC・タブレット持参のワークショップがございます。詳しくは、HPへ。
- 仮想電子通貨「学Pay」を活用した金融教育カリキュラムの実践 豊田 充崇 和歌山大学教育学部 教授
- NHK「考える授業やるキット」で探究型授業に挑戦!(教科: 理科・社会(特に小学校高学年)) 講師: 調整中。随時 HP にて更新。
- 多様な子どもたちの発達支援~子どもの行動には必ず理由がある!~ 藤原 里美 一般社団法人チャイルドフード・ラボ 代表理事

特別ワークショップ

10:30~12:00 / 13:20~14:50

カリキュラム・マネジメントを通して学校をつくる

村川 雅弘 甲南女子大学人間科学部 教授 / 八咫 明美 知多市立新知小学校 校長 / 石田 有記 日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授

事例発表

15:20~16:20

新時代の学校づくりへの挑戦 ~自立・自律した学習者の育成をめざして~



三宅 貴久子 瀬戸 SOLAN 小学校 副校長



(進行: 吉崎 静夫) 日本女子大学 名誉教授

会場MAP 港区立小中一貫教育校 赤坂学園 赤坂中学校



←お申込みの際は、お申込みフォームにて
件名に「IMETSフォーラム」
内容に「申込み」と入力してください。

お問い合わせ

公益財団法人 才能開発教育研究財団
教育工学研究協議会 IMETSフォーラム事務局
〒146-0083 東京都大田区千鳥 3-25-5 千鳥町ビル
電話: 03-5741-1311 FAX: 03-3756-0307 E-mail: forum@sainou.or.jp



IMETSフォーラム2024

第50回教育工学研修中央セミナー

Improvement of Media Education and Teaching Studies

研修主題

GIGAスクール構想時代の 授業と学校を探る

日程 令和6年7月30日(火) 8:50~16:30 (予定)
7月31日(水) 9:00~16:30 (予定)

会場 港区立小中一貫教育校 赤坂学園 赤坂中学校

- ご挨拶 -

『GIGAスクール構想時代の授業と学校を探る』

公益財団法人才能開発教育研究財団 教育工学研究協議会
会長 村川 雅弘

今年度より、吉崎静夫前会長からバトンを受けました。IMETSフォーラムは今回、節目の50回を迎えます。私は40年ほどかかわってきました。その間、全国の多くの研究者や実践者に出会ってきました。実践者の方々は「1年分の研修をこの2日間で学べる」「未来の学校や授業が見える」「毎年来るのが楽しみ」とおっしゃって下さいました。フォーラムをきっかけに親交を結び、今でもかかわりのある方も少なくありません。

常に10年先・20年先を見据え、国の施策や社会の現状を踏まえつつも、その時代の最先端の取組を紹介してきました。プロ野球オールスターゲームと同時期に行われることが多い本フォーラムは、まさに「教育界のオールスター」です。大きな研究大会でメイン講師を務める研究者や実践発表を任される実践者が一堂に会します。

今回も、GIGAスクール構想時代に求められる授業づくりと学校づくり、1人1台端末時代に求められる自己調整能力の育成、生成AIとの付き合い方等の重要テーマを設定し、各分野のエース級を揃えました。ご期待ください。

最後になりますが、IMETSフォーラム開催にあたり、文部科学省、東京都教育委員会、港区教育委員会、日本教育情報化振興会、日本教育工学協会のご支援をいただいていることに深く感謝いたします。

主催：公益財団法人才能開発教育研究財団
共催：一般社団法人日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC)
後援：文部科学省、東京都教育委員会、港区教育委員会
協賛：日本教育工学協会 (JAET)

タイムスケジュール

7月30日(火)

8:50	～	9:00	10分	ご挨拶・オリエンテーション		体育館 (B1F)	
9:00	～	10:00	60分	基調講演	GIGAスクール構想時代に求められる学び	体育館 (B1F)	P3
10:00	～	10:15	15分	休憩			
10:15	～	10:35	20分	ワークショップのご案内		体育館 (B1F)	
10:35	～	11:45	70分	特別講演	GIGAスクール構想の推進について	体育館 (B1F)	P3
11:45	～	13:05	80分	昼休憩			
13:05	～	14:35	90分	ワーク ショップ	カリキュラム・マネジメントの要となる授業づくり	自習室 (6F)	P4
					ICTの授業や家庭での活用	英語科 1 (6F)	P4
					探究で使えるスライド・テンプレートを体験しよう	数学科 1 (6F)	P5
					ピクトグラムをプログラミングしてみよう！	英語科 2 (6F)	P5
					探究的な学びに必要なタイピングスキル	国語科 1 (6F)	P6
14:35	～	15:00	25分	休憩・移動			
15:00	～	16:30	90分	特別対談	自己調整学習をどう進めるか	体育館 (B1F)	P3

終了

7月31日(水)

9:00	～	10:00	60分	特別講演	生成AIと教育	体育館 (B1F)	P7
10:00	～	10:30	30分	休憩・移動			
10:30	～	12:00	90分	ワーク ショップ (午前の部)	発達に偏りのある子どもの理解 ～心理的疑似体験を通して～	交流ホール (3F)	P8
					NHK for Schoolを活用した授業と家庭学習のデザイン	数学科 1 (6F)	P9
					間違いだらけの協働学習を行う前に知っておくべきこと	英語科 1 (6F)	P9
					教師と一緒に考える運動・スポーツを通じた探究活動 (教科: 体育・保健体育)	英語科 2 (6F)	P10
					学校におけるAIの可能性とチャレンジ	国語科 1 (6F)	P10
					特別ワークショップ: カリキュラム・マネジメントを通して学校をつくる (午前の部)	自習室 (6F)	P8
12:00	～	13:20	80分	昼休憩			
13:20	～	14:50	90分	ワーク ショップ (午後の部)	発達に偏りのある子どもの理解 ～心理的疑似体験を通して～	交流ホール (6F)	P8
					情報活用能力を身に付け発揮する学び	数学科 1 (6F)	P11
					仮想通貨「学Pay」を活用した金融教育カリキュラムの実践	英語科 1 (6F)	P11
					NHK「考える授業やるキット」で探究型授業に挑戦！	英語科 2 (6F)	P12
					多様な子どもたちの発達支援 ～子どもの行動には必ず理由がある！～	国語科 1 (6F)	P12
					特別ワークショップ: カリキュラム・マネジメントを通して学校をつくる (午後の部)	自習室 (6F)	P8
14:50	～	15:20	30分	休憩・移動			
15:20	～	16:20	60分	事例発表	新時代の学校づくりへの挑戦 ～自立・自律した学習者の育成をめざして～	体育館 (B1F)	P7
16:20	～	16:30	10分	閉会のご挨拶		体育館 (B1F)	

『GIGAスクール構想時代に求められる学び』

会場：体育館（地下1階）



黒上 晴夫

関西大学総合情報学部 教授

思考スキルおよびシンキングツールにフォーカスを整理・体系化するとともに、それらを活用した授業デザイン、探究的学習のカリキュラムやその評価方法について研究しつつ、様々な学校の実践研究を支援している。

<講座概要>

1人1台情報端末の整備によって、従来できなかった多くのことが可能になりました。そのうちの1つに、自己調整的な学習があります。これには、さまざまな意味や目的がありますが、実はどれも新しいものではありません。新しいのは、かつては叶わなかった理想が、端末によって可能になったということです。このことについて、詳しく検討してみたいと思います。

◆特別講演◆

7月30日(火) 10:35~11:45

『GIGAスクール構想の推進について』

会場：体育館（地下1階）



寺島 史朗

文部科学省初等中等教育局 学校情報基盤・教材課長

- 令和3年10月 総合教育政策局教育人材政策課企画官
- 令和4年8月 総合教育政策局学力調査室長
- 令和6年4月 初等中等教育局学校情報基盤・教材課長、学校デジタル化PTリーダー

<講座概要>

現在、我が国においてICTの進化やネットワーク化により、経済や社会の在り方、産業構造が急速に変化する大変革期、新しい時代「Society 5.0」が到来する中、ICTを最大限に活用し、第4次産業革命というべき変化を先導していく取組が進められています。こうした中で、文部科学省が進めるGIGAスクール構想の推進に向けた取組等についてご説明させていただきます。

◆特別対談◆

7月30日(火) 15:00~16:30

『自己調整学習をどう進めるか』

会場：体育館（地下1階）



木村 明憲

桃山学院教育大学 人間教育学部 准教授

京都市立小学校から、京都教育大学附属桃山小学校を経て現職。



Kimura Edu Lab



進行：黒上 晴夫 関西大学総合情報学部 教授

[基調講演※同ページ] を参照



宗實 直樹

関西学院初等部 教諭

兵庫教育大学大学院学校教育研究科修了。修士(教育学)。
著書に『宗實直樹の社会科授業デザイン』(東洋館出版社)、『社会科「個別最適な学び」授業デザイン』(明治図書出版)など多数。

<講座概要>

にわかに注目を浴び始めた「自己調整学習」ですが、それを実際に進めるためには、まずはそれがどのようなものであるか具体的にイメージし、理解することが大切です。そして、児童生徒にどのような力をつけておかなければならないのか、そのためにどのような手立てが必要か、どのようなメディアをどう使うのが有効か知っておく必要があります。このセッションでは、先事例を参考にそれらについて語り合います。

『カリキュラム・マネジメントの要となる 授業づくり』

会場：自習室（6階）



村川 雅弘 甲南女子大学人間科学部 教授

大阪大学助手、鳴門教育大学大学院准教授・教授等を経て現職。研究開発学校企画評価委員など文科省関連委員多数。

『ワークショップ型教員研修 はじめの一步』『子どもと教師の未来を拓く総合戦略55』等、著書多数。

<講座概要>

カリキュラム・マネジメントの要は授業づくりです。学校としてどのような授業を計画・実施するかが重要です。

①主体的・対話的で深い学び、②言語活動の充実、③学習意欲を引き出す工夫、④効果的なICT活用、を意識した授業づくりのポイントを具現化・共有化するワークショップを体験します。4つの中から興味のあるワークショップを選んで取り組んでもらいますが、並行して行うので、観察や発表を通して4つの手法を学びます。

『ICTの授業や家庭での活用』

会場：英語科室1（6階）



佐藤 和紀 信州大学学術研究院教育学系 准教授

昭和55年長野県軽井沢生まれ。東北大学大学院情報科学研究科修了。博士（情報科学）。

東京都公立小学校・主任教諭、常葉大学教育学部・専任講師等を経て、令和2年より現職。

文部科学省教育の情報化に関する手引執筆協力者、同「GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の円滑な利活用に関する調査協力者会議」委員、同学校DX戦略アドバイザーなどを歴任。

令和3年より日本教育工学会・代議員。

<講座概要>

令和答申で示されている個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現するためのクラウド活用と授業の実際について解説・ディスカッション・ワークショップを行います。

『探究で使えるスライド・テンプレートを
体験しよう』

会場：数学科室 (6階)

[「やってみよう！これからの探究学習」](#)

大河 凌凱

関西大学大学院 博士課程

メディアリテラシーを中心に、
学習者の自己決定をテーマに研究中

黒上 晴夫

関西大学総合情報学部 教授

P3 [基調講演] を参照

<講座概要>

探究学習のプロセスで利用できるスライドのテンプレートを開発しました。課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ表現、毎時間の振り返り、発表時の評価の各プロセスに対応したGoogleスライドです。どのような構造になっていて、どのように利用するか体験してみませんか。

『ピクトグラムをプログラミングしてみよう！』

会場：英語科室2 (6階)



中野 由章

工学院大学附属中学校・高等学校 校長 / 工学院大学教育開発センター 特任教授

技術士（総合技術監理・情報工学）。
情報処理学会、初等中等教育委員会、情報科・教員研修委員会、情報入試委員会など。情報オリンピック日本委員会 理事。青山学院大学ピクトグラム研究所 特別研究員。

<講座概要>

非常口などでよく見かける人型のピクトグラムをデザインして動かしてみましよう。ピクトグラムは、言葉が通じなくても意味を伝えることのできる優れたコミュニケーションツールです。

また、それをプログラミングして動かすことで、より印象強く正確に意味を伝えることもできます。そして、同時に、プログラミングを学ぶこともできます。

ピクトグラム+プログラミング=ピクトグラミングを体験してみましよう。

[ピクトッチ \(ピクトグラミングシリーズ\)](#)

『探究的な学びに必要なタイピングスキル』

会場：国語科室（6階）



石塚 桃弥 株式会社教育ネット

<講座概要>

本セミナーでは、自社で行っているタイピングスキル検定の結果報告を行います。また、端末を活用した探究的な学びに必要なタイピングスキルをどのように身につけていけばよいか、様々な学校の場面に応じて、ご紹介させていただきます。セミナーの中では、参加者同士でディスカッションも行います。

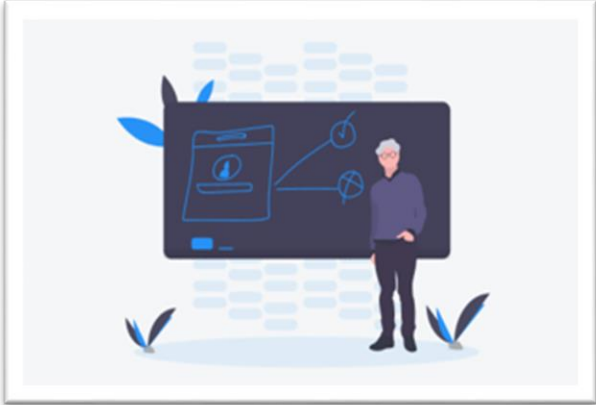
協力：株式会社教育ネット



IMETSフォーラム教育工学研修中央セミナーについて

私たち教育工学研究協議会は、昭和47年度より、より良い授業の創造を目指し、授業設計やマルチメディア、インターネットを活かした学習指導のあり方など実践的な研究を行ってまいりました。

毎年、現代的な話題を解決するための研修主題を設定し、個人および組織(学校全体)が何をすべきか、どのような授業を目指すべきか、ICTなどの最新の教育環境をどのように活用すればよいかについて、先進的な事例に学び、児童生徒の学力向上に役立つ研修としてIMETSフォーラム教育工学研修中央セミナーを開催しています。



『生成AIと教育』

会場：体育館（地下1階）



石川 一郎 学校改革プロデューサー

かえつ有明校長、香里ヌヴェール学院学院長、聖ドミニコ学園カリキュラムマネージャー、星の杜中高理事

<講座概要>

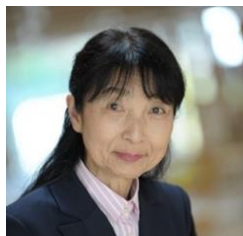
生成AIの出現で教育に問われる力とは？ 思考力・表現力が大事と言われるが、具体的にはどんな力なのか。ブルームタキノミーを通して今後求められる高次思考とは何かを解き明かします。

◆事例発表◆

7月31日(水) 15:20~16:20

会場：体育館（地下1階）

『新時代の学校づくりへの挑戦 ～自立・自律した学習者の育成をめざして～』



三宅 貴久子 瀬戸SOLAN小学校 副校長

鹿児島県出身。関西大学総合情報学部大学院情報学研究科後期博士課程を修了し、平成30年3月情報学博士を取得。大学の非常勤講師を経て、令和3年より瀬戸SOLAN小学校副校長。探究的な学びの評価研究に取り組んでいる。



進行：吉崎 静夫 日本女子大学 名誉教授

[瀬戸SOLAN小学校 HP](#)



[2022年度 2年生制作](#)
[ごんぎつねプロジェクト ジオラママップ](#)

日本女子大学名誉教授、笠間市教育委員、学術博士（大阪大学）。専門は、授業研究や教師研究を中心とした教育工学、教育心理学。主な著書は、『教師の意思決定と授業研究』ぎょうせい、『デザイナーとしての教師、アクターとしての教師』金子書房、『事例から学ぶ 活用型学力が育つ授業デザイン』ぎょうせい。

<講座概要>

瀬戸SOLAN小学校は、個人探究を軸に、「習得—活用—探究」の3つの学びが相互に作用するカリキュラムを構築しました。個人探究で、子ども一人一人が自分の興味・関心の対象から生まれた問いをほとんど探究していきます。より豊かな探究が展開できるように、基礎・基本の習得も大切であることを子ども自らが意味付けできるように支援することが重要です。子どもが自立・自律した学習者として成長し、世界の舞台で活躍する未来を目指しています。

『カリキュラム・マネジメントを通して
学校をつくる』

会場：自習室（6階）

※昼休憩 12:00~13:20

**村川 雅弘** 甲南女子大学人間科学部 教授

大阪大学助手、鳴門教育大学大学院准教授・教授等を経て現職。
研究開発学校企画評価委員など文科省関連委員多数。『ワークショップ型教員研修 はじめの一步』
『子どもと教師の未来を拓く総合戦略55』など、著書多数。

**八鈿 明美** 知多市立新知小学校 校長

愛知教育大学卒業。愛知教育大学教職大学院修了。愛知県岡崎市・知多地方教員を経て現職。
『GIGA実現ハンドブック』など、著書多数。「GIGAすごろく」やスタートカリキュラム作成支援ツール
『サクスタ2』など教員支援ツールの作成を多数手掛ける。

**石田 有記** 日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授

平成11年文部省（現・文部科学省）入省後、教育課程、教員研修、教育財政等の職務を担当後、行政官国内
内研究員、市川市教育委員会教育次長、教育課程企画室長を経て、本年4月より現職。

<講座概要>

これまで生徒指導困難校や学力面で厳しい学校にかかわり、カリキュラム・マネジメント（以下、カリマネ）で
立て直してきました。

カリマネはコロナ禍やGIGAスクール構想など様々な教育課題にも有効な考え方です。カリマネに関する講話や事例
紹介、カリマネを推進してきた元文科省幹部とカリマネで学校経営を展開している校長との鼎談を踏まえて、カリ
マネを推進していくための年間通しての具体的な戦略を協働的に練り上げるワークショップです。

◆ワークショップ◆

7月31日(水) 10:30~12:00

7月31日(水) 13:20~14:50

『発達に偏りのある子どもの理解
～心理的疑似体験を通して～』

会場：交流ホール（3階）

**小林 玄** 東京学芸大学 准教授

東京学芸大学にて学生支援センターと教職大学院を兼務。
教職課程科目を担当する傍ら、都内複数地域で学校巡回相談を務めた。

<講座概要>

通常の学級に、特別な教育的支援が必要とされる児童生徒が8.8%在籍しているとの調査結果があります。知的障害
ではないものの、発達の偏りから学習面や行動面に困難さが生じている児童生徒は、どの学級にも存在しうると言っ
てよいでしょう。本講座では、主に学習面に焦点を当てて、子どもの困難さの心理的疑似体験ワークをしていただき
ます。ワークを通して、困難さへの理解を深め、支援方法のヒントを掴んでいただければ幸いです。

『NHK for Schoolを活用した 授業と家庭学習のデザイン』

会場：数学科室（6階）



宇治橋 祐之 NHK放送文化研究所 主任研究員

幼保向けから小中高等学校向けの各教科・領域の学校放送番組、教育情報番組・ドキュメンタリーなどを制作。現在は教育とメディアに関する調査・研究を担当。全国各地で教員研修や大学のゲスト講師などを担当。

<講座概要>

小中学校の学年・教科に対応した90シリーズ、2100本に及ぶ番組、そして知識定着や調べ学習をサポートする7000本の動画クリップ。全国の教育現場で利用されているNHK for Schoolを、1人1台端末を活用して、授業と家庭学習でどう連携させてデザインすればよいのか。全国の様々な事例もみながら考えていきます。


[「NHK for School」](#)

『間違いだらけの協働学習を行う前に 知っておくべきこと』

会場：英語科室1（6階）



榎本 竜二 元東京女子体育大学 准教授

システムエンジニアから都立学校の教員となり、東京都教育センターで専門教育主事、東京女子体育大学准教授を経て聖心女子大学、中央大学等の非常勤講師を務めた。著書は高校教科書「情報Ⅰ」（東京書籍）等多数。

<講座概要>

協働学習と言いながらも教師が仕切った「ただの顔合わせ」や「結論が見え見えの話し合い」になっていませんか。各班の結論をクラスで共有するだけでは学習になっていません。

協働学習に本当に大切なことは、参加メンバー全員が「合意（コンセンサス）」することであり、そこから確かな自信や新たな気づきにつながります。ここでは、ゲーム化した教材を使うことで合意形成をするプロセスを実際に体験します。


[ネット社会の歩き方](#)

『教師と一緒に考える運動・スポーツを通じた 探究活動（教科：体育・保健体育）』



久保 賢太郎

玉川大学教育学部 講師

中野区立北原小学校、東京学芸大学附属世田谷小学校を経て現職。

（一社）未来の体育を構想するプロジェクト理事。Gakken副読本「みんなの体育」編集委員他、著書・寄稿多数。専門は体育科教育学・教師学。

<講座概要>

探究的な学びの実現は、これからの教育における喫緊の課題です。このワークショップでは、昨年度に引き続き SPLYZA Motion、SPLYZA Teams というアプリケーションを使った、体育授業における探究的な学びの在り方について提案します。

次に、実際にこれらのアプリケーションを使い、運動パフォーマンスを分析したり、考察したりといった授業中の一場面を体験していただきます。その上で、探究的な学びを支える教師/指導者の専門的力について一緒に考えていきます。

協力：株式会社Gakken/株式会社SPLYZA

『学校におけるAIの可能性とチャレンジ』



古賀 大吉

株式会社教育ネット

<講座概要>

本セミナーでは、生成AIの最新情報に加え、校務におけるAIの可能性についてお話しします。セミナーの中で校務で利用できるプロンプト、サービスなどをご紹介します。各人のスマホやパソコンなどで実際に触っていただいたり、先生同士のディスカッションを行っていただいたりするセミナーです。

協力：株式会社教育ネット

『情報活用能力を身に付け発揮する学び』



西田 光昭

柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー

千葉県公立小学校教諭、千葉県柏市教育委員会指導主事、千葉県公立学校教頭、校長を勤め、平成29年年4月より、柏市教育委員会。教育専門アドバイザー。文部科学省学校DX戦略アドバイザー。日本教育工学協会（JAET）理事。

<講座概要>

「各教科等の特質に応じて適切な学習場面で育成を図り、育まれた情報活用能力を発揮させることにより、各教科等における主体的・対話的で深い学びへとつながっていく」とされる、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めるための学びの基盤となる情報活用能力について理解を深め、情報活用能力を育成する場面、発揮する場面をどのようにやっていくのか演習を通じて考えます。

『仮想電子通貨「学Pay」を活用した
金融教育カリキュラムの実践』

豊田 充崇

和歌山大学教育学部 教授

元中学校社会科教員。主に情報教育に関する実践的研究に携わり、各種ICT教材等の開発や効果検証も行ってきた。専門分野として情報モラル・プログラミング教育も含む。

<講座概要>

パナソニック教育財団の特別研究指定校として、2年間実践研究を推進してきた、神戸大学附属小学校での取組を紹介します。独自に開発した仮想電子マネーアプリ「学Pay」を活用した金銭・金融教育カリキュラムの概要やアントレナーシップ（起業家）教育にも通じるその成果について説明し、皆さんにも実際に模擬授業形式で「学Pay」に触れていただきます。併せてパナソニック教育財団の事業活動についてもご紹介します。



↑ [公益財団法人パナソニック財団
特別研究指定校活動報告
「国立大学法人神戸大学附属小学校」](#)



↑ [情報モラル指導用教材
\(和歌山大学教育学部 豊田研究室\)](#)



↑ [「学Pay」インストール
※iOS\(Apple\)のみ対応](#)

『NHK「考える授業やるキット」で

会場：英語科室2（6階）

探究型授業に挑戦！』



孕石 泰孝

関西大学初等部 教諭

大阪府出身。大阪市公立小学校、附属池田小学校、ソウル日本人学校を経て、現在、関西大学初等部教諭。Apple Distinguished Educator。ICT教育、科学哲学教育、自由研究に力を入れて取り組んでいます。

<講座概要>

黒上晴夫先生監修のNHK for School「考える授業やるキット」。これをロイロノート・スクール上で手軽に活用できるように配置した「やるキットプレミアム」が登場。児童が番組の動画や静止画を手がかりにして、思考ツールを使うことで自分の考えを作り出す過程を体験。さらに「やるキットプレミアム」を活用した探究型授業の作り方を学びます。

※Wi-FiにつながるPC/タブレット、イヤホンをご用意下さい

協力：株式会社Gakken/株式会社NHK出版



[考える授業やるキットプレミアム](#)

『多様な子どもたちの発達支援

会場：国語科室（6階）

～子どもの行動には必ず理由がある！～』



藤原 里美

一般社団法人チャイルドフード・ラボ 代表理事

公立保育園勤務、東京都立小児総合医療センター保育主任技術員、明星大学非常勤講師を経て現職。発達障害のある子どもの療育・家族支援を行うと共に園の巡回や研修など、支援者育成にも力を注ぐ。

<講座概要>

子どもの「困った行動」に必ず理由があります。その行動の意味を「認知特性」から解説し、疑似体験を通して学んでいただきます。



[藤原里美の発達支援ルーム](#)
(YouTubeチャンネル)

謝 辞

本フォーラムの開催に際しまして、下記の機関、団体等よりご後援、ご協力を賜りました。厚く御礼申し上げます。

共催：一般社団法人日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）

後援：文部科学省、東京都教育委員会、港区教育委員会

協賛：日本教育工学協会（JAET）

協力企業：株式会社NHK出版、株式会社Gakken、株式会社教育ソフトウェア、株式会社教育ネット、株式会社SPLYZA、株式会社フィールドノート、公益財団法人パナソニック教育財団

公益財団法人才能開発教育研究財団 教育工学研究協議会 IMETSフォーラム2024 実行委員会

実行委員長

・甲南女子大学人間科学部 教授

村川 雅弘

実行副委員長

・関西大学総合情報学部 教授

黒上 晴夫

実行委員

・日本女子大学 名誉教授

吉崎 静夫

・元港区教育委員会教育長

高橋 良祐

・品川区立荏原第五中学校 校長

伊藤 恵造

・前品川区立御殿山小学校 校長

勝進 亮次

・新宿区教育センター適応指導室長

戸部 範一

・前新宿区立戸塚第三小学校 校長

服部 みどり

公益財団法人才能開発教育研究財団 教育工学研究協議会 IMETSフォーラム事務局
〒146-0083 東京都大田区千鳥3-25-5 千鳥町ビル

TEL：03-5741-1311



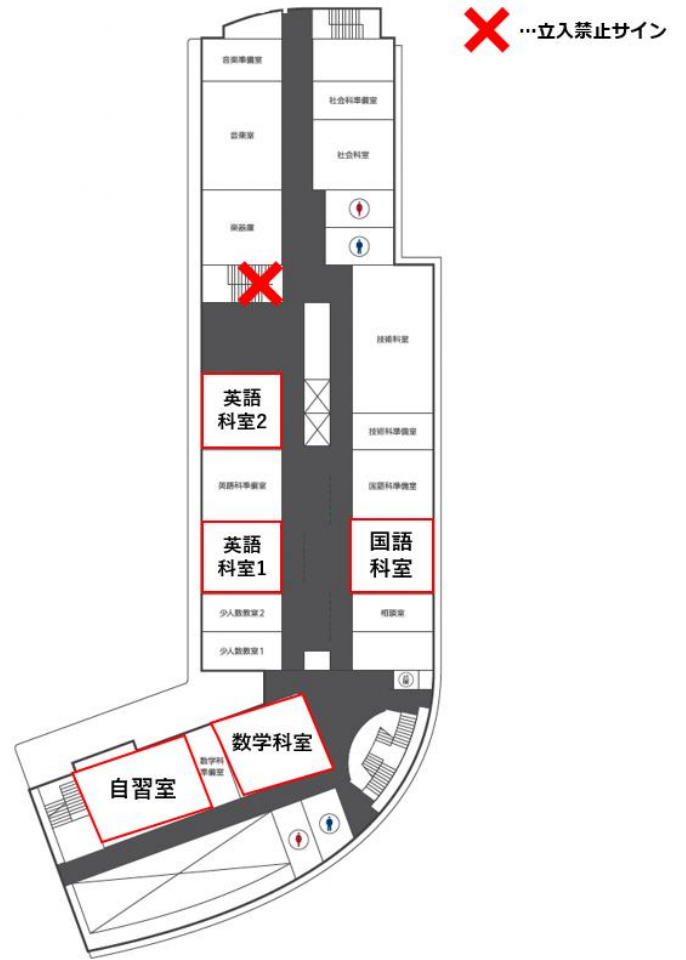
<https://www.sainou.or.jp/>

❌ …立ち入り禁止サイン

B1F



6F



2F



※関係者席以外をご利用ください

3F

